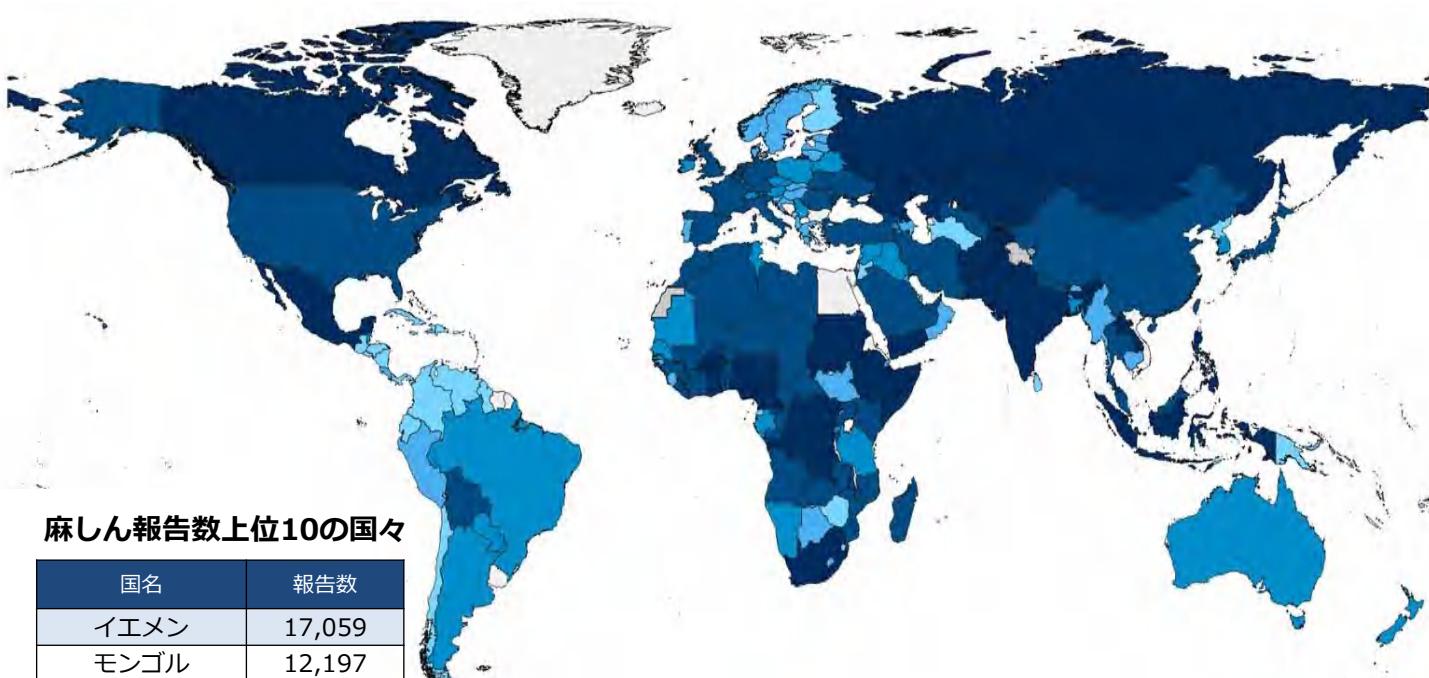


帰国後2週間程度は 麻しん 発症の可能性を考慮し 健康状態に注意してください。



麻しん報告数上位10の国々

国名	報告数
イエメン	17,059
モンゴル	12,197
パキスタン	11,463
ナイジェリア	10,959
インド	8,035
インドネシア	7,419
ロシア連邦	4,573
メキシコ	4,550
アフガニスタン	4,525
カナダ	3,844

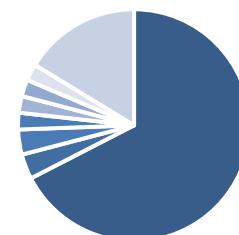


WHO(世界保健機関) 麻しん報告数 (2025年4月～2025年9月)

令和7年11月現在；一部改変

<https://www.who.int/teams/immunization-vaccines-and-biologicals/immunization-analysis-and-insights/surveillance/monitoring/provisional-monthly-measles-and-rubella-data>

日本国内で届出された麻しん症例の推定感染地域



- ベトナム (58例)
- インドネシア (3例)
- タイ (3例)
- カンボジア (2例)
- パキスタン (2例)
- フィリピン (2例)
- モンゴル (2例)
- その他

2025年第1週～第47週 (令和6年12月30日～令和7年11月23日)

帰国後2週間程度は

- ✓ 高熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状に注意しましょう

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

